

# 今年度の課題を視察 常任委員会町内研修

4月30日の臨時議会で、常任委員会の構成を新しくしました。各常任委員会は、主な所管事業の研修会を開催。現地視察を行いました。

## 総務委員会

5月13日、総務委員会は町内研修を全員協議会室で行い、分掌事務の説明を受けました。組織は6部あります。①企画部の人事秘書課、企画情報課。②総務部の総務財政課、安心安全課、税務課、収納課。③教育部の学校教育課、生涯学習課、図書館、給食センター。④会計課⑤監査委員事務局⑥議会事務局。

各担当から21年度の事業内容を、詳細にわたり予算額とともに説明がありました。各担当の説明から厳しい予算配分の中での事務事業のやりくりがうかがわれました。

現地視察は春木中学校と



増築工事中の給食センター



春木中学校の理科室

給食センターに行きました。春木中学校の増築は、生徒数の推計によるピーク時（平成26年度）の学級数は25となり、既存の校舎では8教室の不足見込があるためです。工事費約3億円をかけた増築により、普通教室8室、理科室、理科準備室、多目的室が完成しました。少子化が問題とされる昨今、推計といえ嬉しい増築です。

増築中の給食センターは保育園給食調理施設として利用する予定。工事費用は、用地取得費及び施設購入費どちらも分割払いによる購入です。利息等を含む用地取得費は平成20、24年3634万円、施設取得費は平成21、31年5億657万円。

調理能力は保育園食1500食程

度で、本年6月の保育園給食数約1350食に十分対応できること。施設の引き渡し予定日は21年8月31日です。視察した2施設は本町の未来を担う子どもたちのためのもので、明るく輝く子どもたちの表情が印象的でした。

## 経済建設委員会

経済建設委員会所管の生活部及び経済建設部の町内研修を実施し、所管の各部の主な事業内容及び課題について、より理解が深まりました。

まず生活部は、今年4月に新設された部であり、総務部、健康部、経済建設部より移管された業務の担当。主な課題は、①住民窓口センターのあり方の検討、②



西部児童館内にある住民窓口センター

巡回バスの広域連携と名鉄バス押草団地線の対応、③在在外国人への対応（通訳の確保を含め）です。

名鉄バス押草団地線については、該当地区の意見聴取をしっかりと行った後、公共交通会議で対処が決定されます。本件に関し、委員より利用者意見も充分聞くようにとの意見ができました。子どもエゴ万博は、開催日が体力づくりの日と重なるので、各部門もよく調整し、より多くの人に参加できるよう検討してほしい旨委員より意見ができました。

経済建設部の主な課題は、①「とうごう農学校」の円滑な立上げと運営、②特産品の開発（東郷町商工会との連携）、③公園の地区によ



境川の壁画を視察